

# 大阪府に大きな被害をもたらした過去の気象事例 「平成25年（2013年）8月25日の局地的大雨」＜前線南下＞

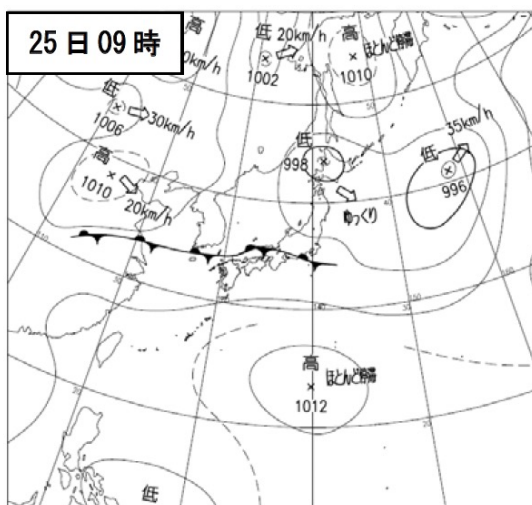
## 大阪市、東部大阪、北大阪で非常に激しい雨 ～床上、床下浸水が多数発生～

### 【概況】

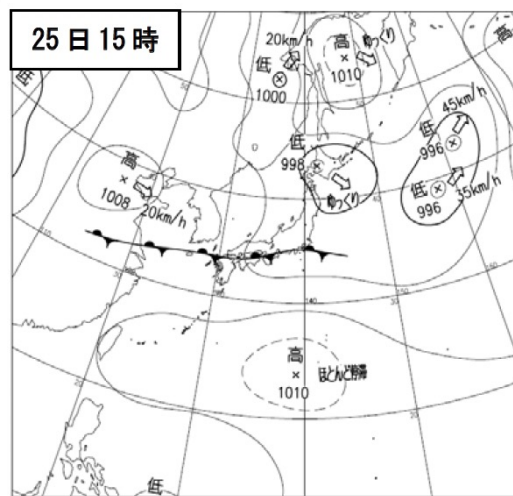
8月25日、西日本をゆっくり南下した前線に向かって太平洋高気圧の縁をまわって暖かく湿った空気が流れ込んだため、大気の状態が非常に不安定となり、大阪府内で激しい雷雨となった。特に、2時30分から7時00分と、10時00分から11時30分にかけて大阪市と東部大阪及び北大阪の南部を中心に非常に激しい雨が降った。

アメダスでは降り始めの25日0時から16時までの総雨量は、豊中で148.0ミリ、枚方で112.5ミリ、大阪市中心部で88.5ミリを観測した。また、豊中で10時43分までの1時間に66.0ミリ、大阪市中心部で11時3分までの1時間に49.0ミリを観測した。さらに大阪市中心部では10時55分までの10分間に27.5ミリの降水量を観測し、観測史上1位の値を更新した。

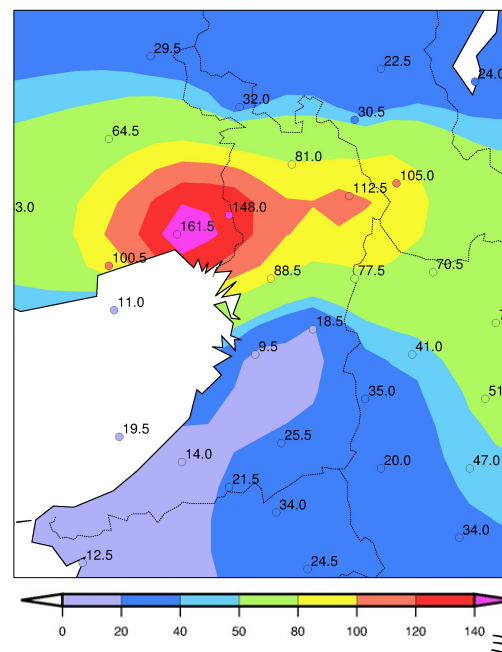
この影響で、大阪府では、床上浸水63戸、床下浸水1,444戸が発生したほか、土砂災害や道路の冠水などの被害が発生し、交通機関にも大きな影響が出た。（被害状況：大阪府HP「大阪府を襲った主な災害」より）



地上天気図（8月25日09時）



地上天気図（8月25日15時）



8月25日のアメダス降水量分布



梅田Est前の浸水状況

写真：大阪府HP  
「大阪府を襲った主な災害」より

前線南下

